

講演会

日時：2014年7月12日（土）

13:00～16:00（当日受付・先着50名）

場所：グランフロント大阪北館

ナレッジキャピタル ザ・ラボ2F

アクティブスタジオ（JR大阪駅北側）

一の谷の合戦を題材とする芸能は、日本の古典芸能の中でも最も人気を博しているものの一つです。この講演会では、近世芸能研究の第一人者である阪口弘之が、人形浄瑠璃を中心にして、その魅力を解明していきます。

講演後、源平の興亡を弾き語る筑前琵琶の演奏を鑑賞し、「観る・読む・語る・演じる」等、さまざまな視点から、古典芸能の魅力を語り合いたいと思います。

源平の興亡と芸能

須磨一の谷の合戦

筑前琵琶奏者

川村 旭芳（かわむら きょくほう）

8歳より、筑前琵琶日本旭会総師範故二代柴田旭堂に師事。

和楽器ユニット「おとぎ」代表。門人会「筑前琵琶 川村旭芳会」を主宰。

2011年、CD『源平一の谷合戦』及び『川村旭芳作品集』を発表。

12:30 開場

13:00～13:30 イベント紹介

神戸女子大学古典芸能研究センターが目ざすもの
—芸能の背景にある「たおやかな力」とは—

川森博司（神戸女子大学教授・古典芸能研究センター長）

13:30～14:30 講演

源平の興亡と芸能 ～須磨一の谷の合戦～

阪口弘之（神戸女子大学名誉教授・

古典芸能研究センター特別客員研究員）

14:45～15:15 琵琶演奏

平家物語より「祇園精舎」「敦盛」「逆落し」

川村 旭芳（筑前琵琶奏者）

15:15～16:00 フリートーク

古典芸能の魅力を語る

—観る・読む・語る・演じる—

○神戸女子大学古典芸能研究センター 行事予告
○10月22日～11月19日（毎週水曜）14時～15時半
特別講座「場所の力―聖地・名所をめぐる伝承と芸能―」
※神戸女子大学教育センター（三宮キャンパス）
○11月29日（土）・30日（日）
国際研究集会「見つめる仮面・能面を見つめる」
※神戸女子大学ポータルアイコンドキャンパス